

(様式2)

## 学校関係者評価報告書

(南宇和高校)

学校番号( 44 )

評価実施日	令和4年2月21日(月)		
委員	氏名	所属等	備考
	尾崎 道広	農業関係者 農家	
	濱見 陽計	学識経験者 元小学校長	
	宮下 武浩	地域中学校長 愛南町立城辺中学校長	
	岩井 正一	地域代表 愛南町教育委員会学校教育課長	
	小澤 豊	保護者代表 P T A副会長	

評価・提言等	提言等に対する改善方策等
<p>1 学校経営 地域人材を活用した地域に開かれた学校づくりが行われている。毎日のホームページ更新、南高通信の定期発行、報道機関を通して学校の取組や生徒の活動が多く発信されており、評価できる。</p>	<p>総合的な探究の時間を活用した、地域理解や課題解決への取組を充実させる。ホームページの更新等学校の魅力発信を全教職員が行う体制を整える。</p>
<p>2 学習指導 家庭学習の意識が低いように思う。生徒に具体的な目標を持たせ、自分自身が頑張ることにより、進路の幅が広がることを自覚させてもらいたい。一人一台端末の活用について改善を図ってもらいたい。</p>	<p>家庭学習調査を考査期間以外にも行い、自学自習の意識付けを図る。I C T機器の活用に向けた研修会の開催や情報の共有を図る。一人一台端末や電子黒板の利用について、教科の特性に応じた積極的な活用を促進する。</p>
<p>3 生徒指導 身だしなみや挨拶などの生徒指導が行き届いている。学校行事も充実しており、部活動は限られた部員でよく頑張っている。防寒具などの校則については柔軟に対応してはどうか。</p>	<p>校則については生徒総会等で議論を交わし、生徒自ら前向きにルールを守る姿勢を身に付けさせる。部活動においては、部活動の充実のため生徒の意見を取り入れた部の精選に取り組む。</p>
<p>4 進路指導 就職率・進学率ともに高く、個に応じた進路指導が丁寧に行われている。保護者・生徒への類型選択の説明も十分行われている。総合型選抜に今後更に力を入れていただきたい。</p>	<p>基礎学力の向上はもちろんのこと、面接指導や小論文指導などの個別指導もより一層充実させる。就職先のミスマッチが出ないように、就職ガイダンスや企業見学を活用する。</p>

<p>5 心の教育 総合的な探究の時間や防災教育など、地域との関わりの中で、優しさや思いやり、感謝の心等が育っている。読書冊数が増えている。朝の読書活動が読書習慣の定着につながっているのではないかと。コロナ禍が落ち着いたら先生方も校外の人権教育の研修会等に積極的に参加してもらいたい。</p> <p>6 地域連携 コロナ禍で制限される中でも地域との連携を工夫して行っておりすばらしい。もっとアピール、周知できるようにしてもらいたい。地域未来探究（総合的な探究の時間）の発表会を中学生にも見せたい。</p> <p>7 業務改善 ノー残業デーは職員の意識改革のためにもよいことだと思われる。業務改善につなげていただきたい。生徒に清掃の目的を再度確認するとよい。</p>	<p>不安や問題を抱える生徒の面談を積極的に行い、情報の共有をする。地域の人権研修会への積極的参加を促し、地域の実態を理解し、連携した活動を推進する。読書の習慣化へ導けるよう、朝の読書の充実を図る。</p> <p>農業体験を通じた小学校との交流を年間継続によって充実させる。総合的な探究の時間の取組状況等をホームページ等で積極的にアピールし、最終発表会をできるだけ多くの方に見ていただけるようにする。</p> <p>仕事の効率化、タイムマネジメント、ワークライフバランスなど、教職員個々の意識改革を促す。清掃は美化委員からの呼び掛けの工夫と担当教員の具体的な指示によって意識向上を図る。</p>
--	---